Understood

Learning and Thinking Differences That Cause Trouble With Spelling

By Peg Rose

１，ある子どもたちはなぜスペリングで苦労するのですか？

Why some kids struggle with spelling?

あなたが、子どもさんの書きを見たとき、どれぐらい多くのスペリングの間違いを目にしますか？

お子さんは、どれぐらい頻繁にスペリングの間違いから、点数を失っていますか？

ある人たちは、子どもがたくさんのスペリングの間違いをするのを見て、それは怠けが原因だと考えています。けれどもそれはまれです。

子どもは一生懸命勉強しているにもかかわらずスペリングテストで失敗し、多くの間違った綴りを書いてしまいます。

どうしてそうしたことが起きるのでしょう？

なぜ子どもがスペリングに困難があるのかを学びましょう。

スペリングの困難はどう見えるでしょうか？

子どもがスペリングで苦労していても、いつも同じように起きるのではありません。

ある子どもたちは、すべての種類の単語をすべて間違います。他の子どもたちは、おもにあるタイプの単語だけに困難があります。

そして、ある子どもたちは同じ間違いを繰り返しおかしますが、何回直され、何回正しく書くように教えられたかは関係ありません。

初期学習者は完璧なスペリングはできないということを覚えておいてください。

幼稚園児は、大抵の単語を間違って書くかもしれません。それはOKです。ｂとｄの混同のような逆さ文字は、また、読み書きの初期学習者によくあります。

２年生になって、あなたは、あらゆる勝手書きのある宿題を見つけるかもしれません。あるがっこうは、「子ども書き」(“kids writing”)と呼ばれるものを勧めています。

学校は、子どもたちが安心して書くこと、スペリングのルールを気にしないことを望んでいるのです。

教師がうまくやっているかどうかを知ることは、何かそこに気にするべき問題があるかを知る最善の方法です。

より年長になったとき、探すべき鍵となる何かがあります。

スペリングで苦労しているとき、次のようなことをしているかもしれません。

・書きが遅い

・たくさんの単語をはなすけれども、少しの単語しか書かない。

・同じ発音で、違う意味の単語でまちがえる、sale とsailの場合のように。

・スペリングのルールを簡単に忘れる

・スペリングの間違いを気にしない

・同じ単語をいろいろに間違えて書く

どんなスキルも課題も困難はストレスになります。スペリングが困難な子どもは、ストレスやフラストレーションのサインを示すことがあります。

それは、彼らが書いているときに、また書いていないときにも、起きることがあります。

宿題をすることを拒否したり、避けたりします。気分が悪いことに不満を言い、学校に行かず家にいることを要求するかもしれません。

何がスペリングの困難を引き起こしますか？

スペリングはいろいろなスキルを含んでいます。もし、子どもがこれらのスキルで苦労していると、スペリングに影響することがあります。

スペリングの困難を成す共通する困難には次のものがあります。

２，なぜ私の子どもは、ある日には単語を正しく書くのに、次の日にはまちがえるの？

Why does my child spelling a word right one day and wrong the next?

子どもは４年生。

A:第一に、あなたが子どもさんの勉強を非情に細かく観察し、そのパターンを把握していることが素晴らしい。

すべての子どもが学習中は、スペリングであれ、他のスキルであれ、間違いをします。あなたは、この間違いが「特徴的」typicalなのかをお尋ねです。

あなたの子どもの先生はこのことについての大事な情報源です。先生のところに行き、話の時間をとってもらうことを怖がらないでください。

教師は、貴方に、子どもさんがスペリング全般にどのように取り組んでいるかを話すことができます。あなたは、また家で見ていることが学校でも起きていることがわかるでしょう。

貴方が教師に伝える情報が多ければそれだけ、教師はより支援をすることができます。あなたは、話をする前に、いくつか準備をしておきたいのですね。

考えられる２つのことがあります。

・あなたの子どもさんは、どのぐらい多くの間違いをしますか？

大抵の単語をまちがえますか、それとも大抵は正しくかきますか？

・あなたの子どもさんが、苦労している単語はどんなタイプの単語ですか？

それは、発音通りに書く単語ですかそれともそうではない単語ですか？

よく起きるまちがいに共通する単語は、was、andなどですか、それとも theのようなものですか？

多くの子どもがスペリングで苦労しています。英語は、ちょと微妙なところがある言葉です。

従わなければならない多くのルールがあります。そしてそのすべてのルールに例外があります。

子どもが最初に綴りを学習しているとき、彼らはよく、勝手書き(invented spelling)と呼ばれるアプローチを使います。彼らは、単語に含まれる音のすべてを書き出そうとし、一つ一つの音に対応する文字を書きつけます。

彼らは間違いをしています。でも、もし彼らが単語に含まれるたいていの音を書き記すならば、それでそれでOKです。例えば、flowersを読み上げようとしている子どもが、勝手綴りを使ってflawrsと書くような場合です。

子どもがこのアプローチを使うとき、彼らはいくつかの単語いろいろなやり方で間違えることがあります。けれども、それは通常は問題ではありません。特に彼らが書き始めたところならば、時間が経過するとよくなります。

しかし、もし、子どもがよくならないならば、スペリングの困難を引き起こす原因となる何かがあるかもしれません。

確かな学習と普通と違う考え方は、いろいろの理由から綴ることを困難にすることがあります。

もし子どもさんがスペリング以外の他のスキルでも苦労しているようでしたら、それを先生と共有してください。いっしょに支援の方法について相談することが出きるでしょう。